

**令和4年度 松山市廃棄物処理施設審議会
第1回 技術検討部会議事要旨**

1. 開催日

令和4年11月14日（月）9:00～10:15

2. 開催場所

松山市役所 別館6階 第1委員会室

3. 出席者

○部会員（敬称略、五十音順）

島岡 隆行（部会長）	九州大学大学院教授(web)
高橋 真	愛媛大学大学院教授(web)
東條 安匡	北海道大学大学院准教授(web)
山中 稔（副部会長）	香川大学教授(web)

○オブザーバー

愛媛県 県民環境部環境局循環型社会推進課 3名
環境省 中国四国地方環境事務所四国事務所資源循環課 1名（Web）

○事務局

松山市環境部 中島部長、門田副部長
廃棄物対策課 荻山課長ほか5名
清掃施設課 岡田副主幹ほか1名

4. 議題

菅沢町最終処分場の維持管理に関すること
(議事内容)

(1) 維持管理中の水質等のモニタリング結果について

- ① 埋立地の地中温度・発生ガス測定の結果
- ② 水質分析結果
- ③ 遮水壁内外水位の観測結果
- ④ 埋立斜面の観測結果

(2) 廃止基準適合について

- ① 廃止基準適合の状況
- ② 廃止基準の見直しについて

(3) 維持管理費用の削減について

① 水処理施設の運転方法の見直しについて(報告)

② 水質モニタリングの検査項目の削減(案)

(4) 来年度以降の開催方針について

5. 議事要旨

(1) 維持管理中の水質等のモニタリング結果について

- 維持管理状況に特段の問題は見られない。
- 適正に維持管理が行われている。

(2) 廃止基準適合について

- 法令で定める「処分場を廃止することできる基準」の全 10 項目のうち、既に 8 項目の廃止基準を満たし、残りは、「浸出水の水質(窒素含有量濃度)」と「メタンガス濃度」の 2 項目のみである。
- 「浸出水の水質」は、数値が低下傾向であり、いずれ目標を達成する見込みであるが、「メタンガス濃度」には低下傾向がみられない。
- 「メタンガス濃度 5%以下」という廃止基準は、法定基準ではない自主基準であることから、追加調査を行い、周辺環境への支障がないことを確認したうえで、自主基準を見直す方向性が示された。

(3) 維持管理費用の削減について

- 水処理施設の水銀用キレート吸着塔を休止させた運転方法について、特段の問題はない。
- 水質モニタリングの検査項目の削減(案)で、問題なし。

(4) 来年度以降の開催方針について

- 来年度も 1 回程度開催する方針となった。
- なお、モニタリング結果の数値や報告内容が、本年度と大きく変わらない場合は、書面開催等による簡易な開催方式とすることが了承された。